

2026年5月1日(金)
株式会社ブシロード



報道関係各位

★PRESS RELEASE★

舞台『ZERO RISE』公開ゲネプロオフィシャルレポート

株式会社ブシロード(本社:東京都中野区、代表取締役社長:木谷高明)は、本日5月1日に舞台『ZERO RISE』の公開ゲネプロならびに取材会を飛行船シアターにて実施いたしました。報道関係の皆様におかれましては、ぜひ本情報をお取り扱いいただけますようお願い申し上げます。

舞台『ZERO RISE』公開ゲネプロオフィシャルレポートを公開！



『ZERO RISE』は、ブシロードが送る新クロスメディアプロジェクトで、過去の過ちや境遇により表舞台から弾かれた若者たちが、裏のストリートバスケットリーグ《ゼロライズ》を舞台に再び夢を掴もうとする物語が描かれる。

5月2日(土)から開始となる本公演に先立ち、5月1日(金)に会場となる飛行船シアターにて公開ゲネプロが行われたので、その模様をキャスト陣のコメントとともに紹介する。

ルール無用のバスケットボールが、舞台上で火花を散らす



今回の舞台『ZERO RISE』は、新宿バスケットで名を馳せるストリートバスケットチーム・UNFIXXX と、武器を使った危険なプレーで新宿最恐チームと恐れられているBLACKSPOT の試合から幕を開ける。競技としてはストリートバスケットをベースとしているが、武器の使用や肉弾戦も許容される、いわば何でもありの特別ルールの「新宿バスケット」だ。実際、冒頭から観客の視線を一気に引き込む迫力のパフォーマンスが繰り広げられる。ステージ上ではボールを用いた試合が進行していく一方で、その立ち振る舞いは、あたかも刀を手にした殺陣を思わせる鋭さと緊張感を帯びているのだ。



ダンスとアクションを組み合わせたボールを巧みに操るパフォーマンスは、美しさと独自性を兼ね備えた本作ならではの試合表現だ。中でも、UNFIXXX のマドカ（笹森裕貴）とBLACKSPOT のバリスタ（川上将大）による1対1の攻防は序盤の見どころのひとつ。緩急を巧みに織り交ぜた動きの応酬は、思わず息を呑む緊張感を感じた。

本作に登場するキャラクターは、単なる元バスケットボール選手にとどまらない。異なる競技から転じた者、ストリートで生きてきた者、行き場を失った者など、多様な背景を持つ人物が「ゼロライズ」に集う。

勝利すれば再び表舞台に立つことができるが、敗北すればすべてを失う。そうした極限の条件下で繰り広げられる戦いは、本作の世界観を象徴するものとなっており、冒頭からその過酷さと魅力を強く印象づけていた。



物語はマドカ擁する UNFIXXX を中心に展開していく。ダテ（福井巴也）やマーリン（大友海）ら仲間たちとの何気ない会話シーンにおいても、それぞれが抱える境遇や心情の違いが丁寧に描かれていた。軽妙なやり取りの裏側に、各キャラクターのバックグラウンドがにじみ出るセリフの数々にも注目してほしい。

パフォーマンスの面でも、まずは UNFIXXX が軸になってくる。メンバーが「ゼロライズ」に懸ける思いを踏まえたうえで観ることで、同じシーンであっても受ける印象が大きく変化する点も魅力だ。

ステージはバスケットコートに見立てられ、キャスト陣は縦横無尽に駆け巡る。一般的なミュージカルや 2.5 次元舞台とも異なる、実際のスポーツを観戦しているかのような臨場感が印象的だ。自由でダイナミックな動きの中にも緻密な構成が感じられ、パフォーマンスとしての完成度の高さがうかがえる。

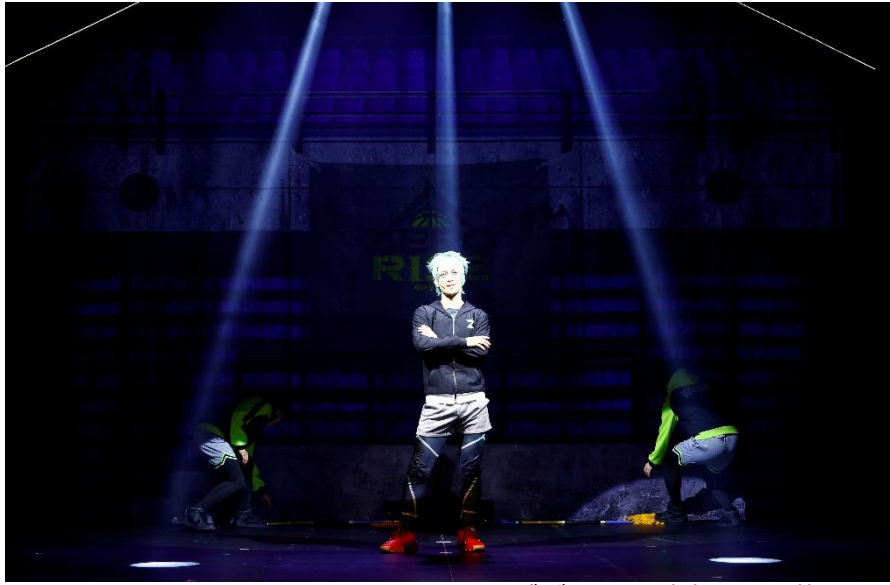


もちろん、本作に登場するチームは UNFIXXX だけではない。幼なじみ 3 人が再び集い、ストリートで再結成されたチーム・KINGS+HOOT の存在も物語に彩りを加える。彼らのパフォーマンスは軽やかで華やかさが際立つが、その裏にある葛藤も描かれる。アイドル活動と並行してバスケットに向き合うミラクル（佐藤たかみち）の苦悩、そしてミラクルをファンとして応援しようとするブリンク（石橋弘毅）とそんな二人を見守るサンシャイン（平賀勇成）の関係性が丁寧に描写されていた。チームワークの強さという点では UNFIXXX と共通する部分もあるが、その方向性には違いが見て取れる。



また、要所では「ゼロライズ」の発起人であり、元プロリーグ王者として知られるジゲン（君沢ユウキ）が登場する。作中では MC 的な役割も担いながら、試合や物語の進行に関わっていく存在だ。

ミステリアスで落ち着いた佇まいを見せる一方、言葉の力でプレイヤー達を導こうとする場面も描かれており、物語の軸に深く関わる重要なキャラクターとなっている。



中盤になるとそんな UNFIXXX と KINGS+HOOT がバスケで対決する一幕も。これまで同様、縦横無尽にステージを駆け巡るパフォーマンスは健在だが、この場面ではそれに加えて、より泥臭さを帯びた表現が印象に残る。必死にボールを追いかけて、互いの身体が激しくぶつかり合う様子からは、真剣勝負ならではの緊張感が伝わってきた。

「ゼロライズ」の優勝候補として登場するチーム・RumbleWing[s]の存在感も際立っている。

天才的なプレーで注目を集めるヨーク（田原廉）は、マドカとの対峙を強く望んでいる様子を見せる。飄々とした振る舞いの中に野性味をにじませたそのパフォーマンスは、他チームとは一線を画す異質さを放っており、観る者の視線を引きつける。



さらに、ヨークを支える双子のチームメイト、ウジン（真野拓実）とサジン（前嶋曜）の存在も印象的だ。悪友のような距離感を保ちながらも、確かな信頼関係を感じさせるやり

取りは、チームとしての結束力を再確認させてくれる。彼らの存在が、作品全体の緊張感を引き締める役割を果たしているのは間違いない。



終盤にかけては、「ゼロライズ」の試合が怒涛の展開を迎える。激しい動きによって臨場感を高める一方で、試合中の心理描写をスローモーションで丁寧に見せる演出も取り入れられている。まるで映画のワンシーンのような見せ方によって、キャラクターの内面がより深く浮かび上がる。

果たしてどのチームが勝利を手にするのか。その結末については、実際の公演で確かめてほしい。

ひとつ言えることは、勝敗そのものだけに焦点を当てているわけではないということだ。敗北したチームにも確かな物語が用意されており、その結果から何を得たのかが丁寧に描かれている点も特徴だ。敗れて終わりではなく、その先へと物語が続いていく。そう感じさせてくれるのも、本作の魅力のひとつと言えるだろう。

キャスト陣よりゲネプロ取材に際してのコメント到着！

マドカ役 笹森 裕貴

ようやく本番です。

約一ヶ月間バスケットのことだけを考え、夢の中でもずっとバスケットをしてました。

僕自身初めての表現をすることも多く、必死に稽古に臨んで参りました。

全員で一丸となり、最高の作品にすべく走ってきました。

ぜひ、お楽しみに！！！！！！

ダテ役 福井 巴也

バスケット未経験の僕にとって、今回が初めての“バスケット舞台”への挑戦です。芝居はもちろん、バスケットの稽古も積み重ね、UNFIXXXとして笹森裕貴さん・大友海さんに刺激をもらいながら食らいついてきました。そして、魅せるバスケットの新しい舞台が『ZERO RISE』だなと感じています！

観劇後、リアルなスポーツ観戦後のような熱さと高揚感を持ち帰っていただけるよう全力で走ります。応援よろしくお祈いします！

マーリン役 大友 海

無事に稽古を終え、いよいよ本番を迎えます。

観劇してくださる皆さんが、実際にバスケの試合を観に来たような感覚になるくらい楽しんでいただける作品になったと思います。

ゼロライズという作品が1人でも多くの方に届くよう誠心誠意努めて参りますので、どうか応援のほどよろしくお祈いいたします！

ブリンク役 石橋 弘毅

バスケ経験者のたかみちくん・勇成に引っ張ってもらいながら、お互いの気づきをすぐ共有してカバーする。まるでバスケの試合中のような稽古期間を経て、「KINGS+HOOT」最高のチームに仕上がりました！

皆様が観劇を終えて劇場を出た際に、スポーツ観戦後ならではの熱と充実感をお届けできるよう、精進いたします。

応援よろしくお祈い致します。

ミラクル役 佐藤 たかみち

とても挑戦的な作品になっています。この世界が完成した時、とんでもなく熱い戦いが目の前で繰り広げられると確信しています。ミラクルと同じく僕もバスケから一度離れ、ゼロライズでまた巡り会いました。ミラクルとはリンクする所が多くずっとワクワクしています！全力で挑戦し続けていきます！マリアージュ！！

サンシャイン役 平賀 勇成

舞台『ZERO RISE』の幕がいよいよあがります！

バスケシーンも見応えがありますが、本筋のストーリーやダンス、楽曲などもとても楽しめる内容となっていると思いますので是非劇場でご観劇いただけますと嬉しいです！怪我なく最後まで気をつけて走りますのでよろしくお祈いします！

ヨーク役 田原 廉

ZERO RISE、いよいよ開幕です！

RumbleWing[s]、そしてteamゼロライズー丸となって、一球入魂の気持ちで全20公演に挑みます！！

ここから始まる物語、最高のスタートダッシュを切れるように、舞台『ZERO RISE』に誠心誠意向き合っています！

みなさんにお会いできるのを楽しみにお待ちしております！！

ウジン役 真野 拓実

『ZERO RISE』という作品は様々な媒体で今後展開されていく中で、この舞台を原点として始まっていきます。

皆様に作品を愛してもらえよう魅力的に演じあげなきゃいけませんし、挑戦的なことも多い。

その分プレッシャーも感じますが、一つ一つ丁寧に、精一杯努めてお届けいたします。楽しんでいただけたら幸いです。

サジン役 前嶋 曜

いよいよ明日から、クロスメディアプロジェクトの舞台『ZERO RISE』が幕を開けます。記念すべき第一弾。この作品とともに駆け上がっていただけることを嬉しく思います。スポーツ作品ならではの熱量とともに、全 20 公演、日々進化し続ける作品をお届けします。

ぜひ劇場で、その瞬間を見届けてください。
よろしくお願いいたします。

バリスタ役 川上 将大

いよいよ、全員でゼロからのスタートを切ります。
僕自身、とても胸が高鳴っています。
皆様に愛していただける作品となるよう、“演劇で魅せるバスケット”をテーマに、座組一同、熱量をもって大切にお届けします。
ゼロから這い上がる物語——『ゼロライズ』。ぜひご期待ください。
劇場でお待ちしております。

ジゲン役 君沢 ユウキ

心より信頼する制作様、スタッフ様、キャスト様、多くの関係者の皆様の本気を稽古場からビシビシ感じました。
原作のないところから原作を生み出す挑戦、まさにこれも、ZERO RISE。
若く輝く才能ある皆様にステージでも支えられますよう、ZERO RISE 主催者・ジゲンとしてしかと努めて参ります。ご期待下さい。

<舞台『ZERO RISE』概要>

■公演期間

2026年5月2日(土)~17日(日)(全20公演)

■キャスト

<UNFIXXX>

マドカ(黒昏 円) : 笹森 裕貴

ダテ(天盾 鋼) : 福井 巴也

マーリン(真鈴堂 司咲) : 大友 海

<KINGS+HOOT>

ブリンク(菅原 橙輝) : 石橋 弘毅

ミラクル(田村 景虎) : 佐藤 たかみち

サンシャイン(丹羽 晴光) : 平賀 勇成

<RumbleWing[s]>

ヨーク(飛雷 翼) : 田原 廉

ウジン(仁内 右一郎) : 真野 拓実

サジン(仁内 一左) : 前嶋 曜

<BLACKSPOT>

バリスタ（破裏 毅士）：川上 将大
UNKNOWN A：suit actor 滝山 翔太
UNKNOWN B：suit actor 優志

ジゲン（次元 隼人）：君沢 ユウキ

■スタッフ

企画・原作：ブシロード
脚本：松多 壱岱（ILCA）
演出：毛利 亘宏

▼ZERO RISE とは▲



落ちこぼれたち×バスケットボール
ブシロードが送るクロスメディアプロジェクト
貧困格差が広がり、清廉潔白な人生が求められ、弱肉強食が激しい超競争社会。
その中で足掻き、跳きながら、彼らは■■■■■を取り戻せるのか――

プロジェクト PV：<https://youtu.be/qydYN1qgKBQ>

ZERO RISE 公式 HP：<https://zerorise-pj.com>

ZERO RISE 公式 X：https://x.com/ZERORISE_PJ

ZERO RISE 公式 Instagram：https://www.instagram.com/zerorise_pj/

ZERO RISE 公式 YouTube チャンネル：<https://www.youtube.com/@ZERORISEチャンネル>

※掲載の際には、下記の記載をお願いいたします。

©ZERO RISE project.